

<公募研究課題>

- ① 臨床医学研究のうち次に掲げるもの
 - (ア) HIV感染症の治療開発に関する研究(15100101)
 - (イ) 抗HIV薬の長期投与に関する研究(治療ガイドラインの作成に関する研究を含む)(15100201)
 - (ウ) HIV感染症に合併する疾患の克服に関する研究(15100301)
 - (エ) HIV感染者の生殖医療に関する研究(15100401)
- ② 基礎医学研究のうち次に掲げるもの
 - (ア) HIV感染予防に関する研究(15100501)
 - (イ) エイズ発症阻止に関する研究(15100601)
- ③ 社会医学研究のうち次に掲げるもの
 - (ア) HIV感染予防対策の効果に関する研究(15100701)
 - (イ) HIV検査体制の構築に関する研究(15100801)
 - (ウ) エイズ対策における関係機関の連携に関する研究(15100901)
 - (エ) 性感染症としてのHIV感染の予防に関する研究(15101001)
- ④ 疫学研究のうち次に掲げるもの
 - (ア) HIV感染症の疫学に関する研究(15101101)
 - (イ) アジア・太平洋地域におけるHIV感染症の疫学に関する研究(15101201)

サ. 感覚器障害研究事業

<事業概要>

視覚、聴覚・平衡覚等の感覚器機能の障害は、その障害を有する者の生活の質(QOL)を著しく損なうが、障害の原因や種類によっては、その軽減や重症化の防止、機能を補助・代替等が可能である。

そのため、これらの障害の原因となる疾患の病態・発症のメカニズムの解明、発症予防、早期診断及び治療、障害を有する者に対する重症化防止、リハビリテーション及び機器等による支援等、感覚器障害対策の推進に資する研究開発を推進する。

<新規課題採択方針>

視覚・聴覚・平衡覚領域における障害(重複障害を含む)及び日常生活上の支障をもたらす状態について、その原因となる疾患等の予防・治療及び障害の除去・軽減に資する研究開発、これらの障害を有する者の社会参加の促進に資する研究開発等を実施する。

研究費の規模: 1課題あたり10,000~20,000千円程度(1年当たり)

研究期間: 1~3年

新規採択予定課題数: 5課題程度

<公募研究課題>

- ① 視覚障害に関する疫学的研究、予防、医療及びリハビリテーションに関する研究並びに視覚障害の要因となる疾病に関する研究(15110101)
- ② 聴覚及び平衡覚障害に関する疫学的研究、予防、医療及びリハビリテーションに関する研究並びに聴覚・平衡覚障害の要因となる疾病に関する研究(15110201)
- ③ 視覚、聴覚及び平衡覚障害並びにそれらの重複障害により廃した機能を補助・代

替する機器の開発及び改良に関する研究（15110301）

シ. 免疫アレルギー疾患予防・治療研究事業

<事業概要>

喘息、アトピー性皮膚炎、花粉症のアレルギー疾患やリウマチ・膠原病などの免疫疾患は症状が長期にわたり持続することで健康を脅かす。そこでこれらの病気にかかりやすい体質と生活環境などの関係を明らかにすることで、疾病の予防、診断、治療法に関する新規技術を開発するとともに、既存の治療法を評価・整理すること等により、適切な医療の提供を目指す。

<新規課題採択方針>

免疫アレルギー疾患に影響を与える要因及び治療法、診断法に関する研究等。

研究費の規模：1課題当たり20,000千円～30,000千円（1年当たり）

研究期間：3年

新規採択予定課題数：6課題程度

<公募研究課題>

- ① 気管支喘息等の予後の改善を目指した、早期介入のための早期診断法の確立に関する研究（15120101）
- ② 食物等によるアナフィラキシー反応の原因物質（アレルゲン）の確定、予防・予知法の確立に関する研究（15120201）
- ③ アトピー性皮膚炎等の有病率調査等に関する疫学及び調査法の確立に関する研究（15120301）
- ④ 各種アレルギー疾患診断・治療のためのアレルゲンの精製、標準化及びアレルゲンモニタリングに関する研究（15120401）
- ⑤ 重症アレルギー疾患の難治化機序を踏まえた治療法の確立に関する研究（15120501）

（参考）

なお、研究計画の提出に当たり、以下のア及びイの項目に該当する論文（全文）3編を添付すること。欧文のものについては日本語要旨も添付すること。

ア 申請する課題に係る分野に特に関連するもの。

イ 申請者が第一著者、もしくは主となる役割を担ったもの。後者の場合はその簡潔な理由を添付すること。

ス. こころの健康科学研究事業

<事業概要>

自殺や睡眠障害、自閉症等のこころの健康問題、精神分裂病（統合失調症）、感情障害（そううつ病）等の精神疾患及び筋委縮性側索硬化症、パーキンソン病等の神経・筋疾患に対して、神経科学及び分子生物学的手法、画像診断技術等の最先端バイオ・メディカル技術等を活用し、その病因・病態の解明、遺伝子情報に基づく機能予測、疫学調査等を行うことにより、画期的な予防、診断、治療法等の研究開発を推進する。

<新規課題採択方針>

近年、重要性が注目されているこころの健康の問題、精神疾患及び神経疾患等について、最先端バイオ・メディカル技術の活用、疫学調査による病因・病態の解明、予防・診断・治療に関する研究開発等、最新の医学的知見を施策の企画・立案及び実施に反映するための研究開発を実施する。

研究費の規模：1 課題当たり10,000～50,000千円程度（1年当たり）

研究期間：1～3年

新規採択予定課題数：16 課題程度

<公募研究課題>

（こころの健康科学分野）

- ① アルツハイマー病の遺伝子機能の解析に関する研究（15130101）
- ② 精神・知的発達障害の成因とその教育・療育的対応に関する研究（15130201）
- ③ 睡眠・覚醒リズム障害の成因解明と治療法の開発に関する研究（15130301）
- ④ 機能性精神疾患の系統的遺伝子解析又は画像解析に関する研究（15130401）
- ⑤ ストレス性精神障害の成因に関する研究（15130501）
- ⑥ 一般住民及び保健医療関係者における精神保健リテラシーの国際比較に関する研究（15130601）
- ⑦ 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った精神障害者の精神医学的評価、治療及び社会復帰に関する研究（15130701）
- ⑧ 吃音の病態解明と医学的評価及び検査法の確立のための研究（15130801）
- ⑨ その他、こころの健康に関する保健福祉施策の企画・立案及び実施に資する研究であって、重要性及び緊急性が特に高いもの（15130901）

（神経・筋疾患分野）

- ① 脳血管障害及び外傷性中枢神経障害のリハビリテーションにおける科学的解析法と治療法の確立に関する研究（15131001）
- ② 不随意運動症の中枢メカニズムの解明と治療法に関する研究（15131101）
- ③ 免疫性末梢神経障害の病態解明と治療法に関する研究（15131201）
- ④ 糖鎖修飾異常による筋疾患の病態解明と治療法に関する研究（15131301）
- ⑤ 神経疾患及び筋疾患に対する挑戦的治療法の開発に関する研究（15131401）

セ. 医薬安全総合研究事業

<事業概要>

医療安全の確保は医療政策における最も重要な課題の一つとなっていることから、医薬品、医療機器等の物的要因に関連する医療事故を防止するために必要な研究を行うとともに、それらの適正使用の推進に資する研究を行う必要がある。

医療安全の確保に関しては、抗生物質に耐性、あるいは低感受性の細菌の出現や、セラチアのような弱毒菌による集団発生の事例が依然として報告されていることから、院内感染対策に資する研究を行う必要がある。また、診療用放射線についても、新しい技術の放射線防護上の安全の確保、国際基準と整合性を図るために必要な検討等を行う必要がある。

薬物乱用対策については、我が国は、依然として第三次覚せい剤乱用期の深刻な状況にあり、また、覚せい剤以外のマジックマッシュルーム等、麻薬を含む植物の乱用の拡大も予断を許さない状況である。また、薬物乱用対策は、地球規模での緊急な対策が必要な課題であり、この分野で国際的な研究を推進していくことは、我が国のみならず、国際的な貢献につながるものである。

血液は医療に不可欠ながらヒトからの供給によるため、緊急時の供給量や未知の感染症、免疫反応等の問題を内在しており、人工血液はこれらの問題を解決し得るものとして開発が期待される。

このため、本事業においては、①医療機関における医薬品・医療機器等の安全対策の推進、②乱用薬物対策等に関する調査研究の実施、③人工血液の開発研究の観点から、関係省庁の連携の下に総合的かつ計画的な研究を推進する必要がある、厚生労働省においては薬事関連及び医事関連規制による安全性確保要請に応える部分の研究を実施する。

<新規課題採択方針>

医療機関における安全対策に関する研究、乱用薬物対策等に関する研究、人工血液の開発研究に関する研究

研究費の規模：1課題当たり5,000千円以上（1年当たり）

研究期間：1～3年

新規採択予定課題数：16課題程度

<公募研究課題>

① 医療機関における安全対策に関する研究のうち次に掲げるもの

(ア) 医薬品、医療用具による事故防止のための情報管理・病棟製品管理の方策に関する研究（15140101）

(イ) ヒヤリハット事例の要因分析・データ評価手法に関する研究（15140201）

(ウ) 院内感染の防止のための監視体制の整備、細菌検査室の機能向上に関する研究（15140301）

(エ) 院内感染対策の費用便益及びその客観的評価基準づくりに関する研究（15140401）

(オ) 集中治療部門（ICU、NICU）等、易感染性患者の治療を担う部門における院内感染防止対策に関する研究（15140501）

(カ) PET検査施設における放射線安全の確保に関する研究（15140601）

② 乱用薬物対策等に関する研究のうち次に掲げるもの

(ア) 薬物乱用の実態とその社会的影響に関する研究（15140701）

(イ) 薬物依存・中毒者の治療と社会復帰支援に関する研究（15140801）

(ウ) 麻薬原料植物の代替作物開発に関する研究（15140901）

(エ) がん疼痛治療におけるオピオイド鎮痛薬の適正使用に関する研究（15141001）

③ 人工血液開発に関する研究のうち次に掲げるもの

(ア) 救急・災害医療に利用可能な人工血液の開発に関する研究（15141101）

(イ) 人工血液の安全性向上に関する研究（15141201）

<事業概要>

労働集約型サービスである医療サービス分野は、人口の少子・高齢化において、医療ニーズの多様化・高度化に適切に対応するため、より一層の省力化と効率化した医療提供体制の構築と良質な医療サービスの提供、また、医学・医療技術や情報通信技術の進歩等を活用して、時代の要請に応じた効率的な医療システムを構築し、豊かで安心できる国民生活の実現が求められている。

このため、良質な医療を合理的・効率的に提供する観点から、医療技術や医療システムを評価し、医療資源の適切な配分を行うなど、時代の要請に速やかに対応できるよう、既存医療システム等の評価研究を実施するとともに、医療の質と患者サービスの向上のために必要不可欠な医療安全体制確保に関する研究、根拠に基づく医療（Evidence-based Medicine: EBM）に関する研究を実施するものである。

なお、本研究事業は、総合的かつ効果的な推進のために経済産業省及び郵政事業庁との共同・連携を図っていくこととしている事業である。

<新規課題採択方針>

良質な医療を合理的・効率的に提供するための診療技術・医療情報技術の評価、医療提供体制基盤整備等に関する研究、医療の質と医療安全体制確保に関する研究、根拠に基づく医療（Evidence-based Medicine: EBM）に関する研究。

研究費の規模：1課題当たりEBMは10,000千円～20,000千円程度、その他は3,000千円～50,000千円程度（1年当たり）

研究期間：1～3年

新規採択予定課題数：EBM6課題程度、その他40課題程度

<公募研究課題>

- ① 診療技術の評価（特に客観的評価法又は技術の経済的分析）に関する研究（15150101）
- ② 診療機能の評価（特にアウトカム評価）に関する研究（15150201）
- ③ 医療情報技術の開発、評価及び普及について標準的電子カルテシステムの開発に関する研究
- (7) 標準的な電子カルテシステム開発のための設計図（モデル）に関する研究（15150301）
- (1) 電子カルテシステムにおける部品（コンポーネント）の標準化に関する研究（15150401）
- (ウ) 医療情報の標準化の開発及び評価に関する研究（15150501）
- ④ 医療提供体制基盤整備に関する研究のうち次に掲げるもの
- (7) 医療提供体制（特に小児医療）の充実に資する研究（15150601）
- (1) 医療機関の機能分化（役割分担）と連携を推進する方策に関する研究（15150701）
- (ウ) 救急、災害（テロを含む）又はへき地医療の提供及び評価に関する研究（15150801）
- (1) 医療関係職種の資質の向上（特に医師・歯科医師の卒後臨床研修及び国家試験の質の向上）に関する研究（15150901）
- (オ) 医療における情報提供の推進に資する研究（15151001）
- ⑤ 看護技術の開発、評価及び看護提供体制に関する研究のうち次に掲げるもの

- (7) 看護技術の開発及び評価に関する研究 (15151101)
 - (4) 看護制度の改革に資する研究 (15151201)
 - (ウ) 看護サービスの質の向上に関する研究 (15151301)
- ⑥ 医療の質及び医療安全体制の確保に関する研究のうち次に掲げるもの
- (7) 医療事故を防止する方策を立案するための要因分析手法の開発に関する研究 (15151401)
 - (4) 医療事故を防止するための対策の効果的な実施及び評価に関する研究 (15151501)
 - (ウ) 医療事故を防止するための建築及び構造設備に関する研究 (15151601)
 - (エ) 認知心理学、人間工学等を学際的に用いた人的要因 (Human Factor) に起因する医療事故の予防に関する研究 (15151701)
 - (オ) 医療の質の向上に資する管理手法(クリティカルパスを含む)の開発に関する研究 (15151801)
 - (カ) 他領域や諸外国における安全対策の応用に関する研究 (15151901)
 - (キ) 医療安全推進に関する法的問題に関する研究 (15152001)
 - (ク) 患者の安全で良質な医療サービスの選択に資する研究 (15152101)
 - (ケ) 医療の安全と質の評価に関する研究 (15152201)
 - (コ) 医療機関における安全管理体制の整備に関する研究 (15152301)
 - (サ) 監察医制度に関する研究 (15152401)
- ⑦ 根拠に基づく医療 (Evidence-based Medicine:EBM) の手法を用いた医療技術の体系化に関する研究のうち次に掲げるもの
- (7) 診療ガイドラインの活用、評価及びその手法に関する研究 (15152501)
 - (4) EBMの普及・推進に関する研究 (15152601)
 - (ウ) 診療ガイドラインのデータベース化に関する研究 (15152701)

タ. 肝炎等克服緊急対策研究事業

<事業概要>

肝炎ウイルスの病態及び感染機構の解明並びに肝炎、肝硬変、肝がん等の予防及び治療法の開発等を目的とする。

<新規課題採択方針>

肝炎ウイルス等について、その病態や感染機構の解明を進めるとともに、肝炎、肝硬変、肝がん等の予防、診断及び治療法等に資する研究

研究費の規模：1課題当たり10,000千円～30,000千円(1年当たり)

研究期間：3年

新規採択予定課題数：2課題程度

<公募研究課題>

- ① A型肝炎及びE型肝炎の診断、予防及び疫学に関する研究 (15160101)
- ② その他肝炎、肝硬変、肝がん等の予防、診断及び治療法等に資する研究であって、重要性及び緊急性が特に高い研究 (15160201)

チ. 労働安全衛生総合研究事業

<事業概要>

労働災害により今年お年間約55万人が被災するとともに、腰痛、じん肺等の職業性疾病も依然として後を絶たない状況にある。また、一般健康診断において所見を有する労働者が全体の4割を超えるとともに、仕事や職場生活に関する強い不安やストレスを感じている労働者の割合や自殺する労働者数が増加している。さらに、職場における化学物質の健康影響については、社会的な問題となっている。

このような課題に今後より一層的確に対応するため、本事業は、職場における労働者の安全と健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進するための研究を総合的に推進することを目的とする。

<新規課題採択方針>

業務上疾病の中で最も多い腰痛症対策の推進に資するための業種別の発生要因や具体的な実施手法に関する研究。

研究費の規模：1課題当たり5,000千円程度（1年当たり）

研究期間：1～3年

新規採択予定課題数：1課題程度

<公募課題研究>

① 人間科学・人間工学的アプローチからの労働安全衛生対策に関する研究のうち次に掲げるもの

(7) 筋骨格系障害予防に役立つ生体負担の軽減対策に関する研究（15170101）

<参考>

課題採択にあたっては、職場における腰痛予防対策指針を基礎とした評価とその具体的な実施手法に関する調査研究を優先する。

(2) 公募研究事業計画表

